



全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.27

戦争法案ゼツタイ廃案！ 必ず止める！ 戦争法案に「自然成立」なし 参院で否決 衆院での再議決を許さないとりくみを

安倍内閣、自民・公明は、戦争法案を衆院特別委員会に続き16日の本会議で採決を強行。一部メディアは驚くような報道をしました。与党の強行採決で衆院通過（16日）した戦争法案についてNHKは「法案成立の公算が大きくなった」とテロップや解説を繰り返し流し、「読売」「日経」「産経」も「国会の成立が確実となった」（17日付）と報じています。ここには、政治を動かす可能性をはらんだ国民のたたかひの視点はまったくありません。政治はしよせん、政権党・政治家の思惑や駆け引きによって決まる、という古い政治観です。「成立確実」の報道は、国民に「反対をあきらめろ」といっているに等しいものです。

そもそも、国会のルールからみても自動的に戦争法案が「成立」するものではありません。予算案や条約案は衆院の議決・承認から30日以内に参院で議決しない場合は、「自然成立・承認」となりますが、法案にはその「自然成立」がないのです。安倍政権が戦争法案を「成立」させようとするれば、衆院で与党単独が行った強行採決を参院で再び行うか、衆院で3分の2以上の賛成での再議決を使って強行採決するか以外に道はありません。

衆院での強行採決は、戦争法案反対の国民の空前のたたかひに追い詰められた与党が、逃げ込んだ道でした。「強行採決でマジに安倍政権を倒したくなった。おれたちの未来を勝手に決めるな」。SEALDs（シールズ＝自由と民主主義のための学生緊急行動）の国会正門前集会に初参加した都内大学の男子学生の怒りです。強行採決は国民のたたかひを発展させる契機となり、安倍政権の包囲網がさらに広がっています。政府・与党を、強行採決できないような力関係に追い込めば、法案を廃案にすることができる展望が広がっています。

戦争法案で国民の世論と運動に追い詰められる安倍政権は、同時に焦点となっている国政問題で大きな国民的矛盾に直面しています。①沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐるのは、前知事の埋め立て承認を検証していた県の第三者委員会が「法律的瑕疵（かし）が認められる」とした報告書を翁長雄志知事に提出。県が埋め立て承認の取り消しに踏み切れば、辺野古新基地建設に伴う埋め立て工事の法的根拠がすべて失われます。②8月上旬に再稼働を狙う九州電力川内原発（鹿児島県）でも再稼働を許しているのかの大問題が問われるのは必至です。③巨費がかさむ新国立競技場建設計画が「白紙撤回」に追い込まれたのも見直しを求めた世論の力でした。

私たち国民こそ主権者

あらゆる分野でたたかひを発展させ、合流させていくことによって安倍政権はいよいよ行き詰まり、それは戦争法案を廃案・撤回に追い込む力となるのは間違いありません。

渡辺治氏 国会前抗議でアピール

17日、国会前でのSEALDs（シールズ＝自由と民主主義のための学生緊急行動）の抗議行動で、渡辺治一橋大学名誉教授が行ったアピールの要旨です。

本当に廃案にするために

戦争法案、衆議院で強行採決されましたが、本当に廃案にするにはどうしたらいいか。

みなさんには、国民の声を聴かない安倍政権のやり方で、戦争法案強行採決されるんじゃないか。焦りもあるかもしれませんが。しかし、焦っているのは私たちより安倍政権です。安倍政権は私たちの運動の中で、2つの大きなミスを犯しました。

一つは、強行採決は本当はしたくなかった。おれをやれば国民がこの戦争法案をどう見るかわかっている。しかし、それをやらないと間に合わない状況をつくった。2つの誤算が安倍内閣を大きく縛っています。

8月に起きること

なぜ8月に国会を閉じたかったのか。8月になると、戦争法案に加え3つの爆弾が出てきます。一つは、8月中旬に間違いなく川内原発の再稼動が行われます。安倍は、強い大企業本位の国をつくるため、どんなに国民の反対を受けても川内原発を再稼動したい。

続いて8月の10日過ぎには、安倍が執着している戦後70年談話があります。そこでは、戦前の日本の侵略戦争と植民地支配を絶対におわび、謝罪をしない。しかし中国や韓国だけではなく、私たち国民の中からも確実に反発が起こる。

3番目は、辺野古の新基地について、前知事の埋め立て許可を拒否する決定を翁長沖縄県知事は8月にやると言っている。

原発、戦後の歴史問題の修正、辺野古の新基地の強行。戦争法案がなくても安倍内閣の命を吹っ飛ばすような重大な課題です。これが8月にでてくる。国会の中で戦争法案と合わせ4つの爆弾を安倍は抱えています。私たちがたたかいを大きくし、4つの爆弾で安倍政権の命運を左右する。これが戦争法案をなくす最大の道です。

夏休み帰省したら

私たち、君たちは何をやったらいいのか。毎週金曜日ここに来るのは前提です。でもそれだけでは不十分だ。集会が終わったら学園に帰って、1人でも多くの友だちに、戦争法案が如何に悪いか話し、ここに連れてくる。余力があれば学習会、シンポジウムを開き、大学で戦争法案について議論する。僕らは喜んで行きます。学者の会、「九条の会」に声をかけてほしい。

もう一つ。夏休みに、地域、郷里に帰るかもしれない。絶対に帰るべきだ。そしえ、必ず地域で起きている運動に参加してほしい。九条の会は全国に7500ある。10年以上頑張っています

最大の弱点は中高年で、おじさんおばさんが必死に頑張っている。だから君らは、地域に帰り、地域の取り組みに行き訴えてほしい。自分たちはこういうことを国会前でやっている。ともにたたかおうと。

学者 1万人超が抗議声明 ＝強行採決「民主主義の破壊」

時事通信 7月20日(月)20時9分配信

さまざまな専門分野の学者でつくる「安全保障関連法案に反対する学者の会」が20日、東京都内で記者会見し、「強行採決は国民の意思を踏みにじる立憲主義と民主主義の破壊だ」などとする1万1279人の共同声明を発表した。

学者の会は、ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英京都大名誉教授ら61人が呼び掛け人となり、賛同する学者・研究者は20日時点で1万1218人。うち150人以上が会見に出席した。

益川さんは「安倍政権は憲法9条をなし崩しにしようとしている」と力説。池内了名古屋大名誉教授（宇宙物理学）は「法案は安倍政権の軍事化路線。軍需研究への動員が始まろうとしている」と危機感を表明した。

千葉真国際基督教大特任教授（政治思想）は「憲法順法義務を無視している」と強調。吉岡齊九州大教授（科学史）も「次は憲法改正を必ず狙ってくる」とし、高山佳奈子京大教授（法学）は「国際世論からは、憲法を無視して押し進めていいという意見は全く寄せられていない」と指摘した。

広渡清吾専修大教授（法学）が「国会内の雰囲気を変えるには十分時間はある」と締めくくり、全員で「廃案まで頑張るぞ」と氣勢を上げた。

内閣支持率急落35%

毎日新聞は17、18両日、安全保障関連法案の衆院通過を受けて緊急の全国世論調査を実施しました。安倍内閣の支持率は今月4、5両日の前回調査より7ポイント減の35%で、第2次安倍内閣発足後で最低となりました。不支持率は前回より8ポイント増の51%と初めて半数に達しています。与党が15日の衆院平和安全法制特別委員会で安保法案を強行採決したことについては「問題だ」との回答が68%で、「問題ではない」の24%を大きく上回っています。安保法案＝戦争法案への世論の批判は強まっており、政府・与党の一連の対応が内閣支持率を押し下げたとみられます。

とりくみ

【映画人九条の会】 戦争法案 暴挙許さない 映画人 賛同広がる

金丸研治・映演労連委員長、事務局の高橋邦夫・映画人九条の会事務局長も会見

「たたかいはこれから。世論をこんなにも無視した暴挙を国民が許すはずはない」—アピール「私たち映画人は『戦争法案』に反対します！」への賛同者が映画各界や愛好者に広がり、446人にのぼることが16日、発表されました。

呼びかけ人の池谷薫、神山征二郎、高畑勲、降旗康男、ジャン・ユンカーマンの5人の監督と、金丸研治・映演労連委員長、事務局の高橋邦夫・映画人九条の会事務局長が会見にのぞみました。

「戦後70年たつて権力者が大きなうそをついている。その化けの皮がはがれてきたというのが現状だと思う」（池谷氏）、「9条に風呂敷をかぶせて議会の絶対多数で踏みにじるのは許せない」（降旗氏）、「首相は、国民の理解が不十分などと言っているが、国民は十分わかってきている」（神山氏）など、怒りの発言が続きました。

「大勢順応のズルズルはだめです。日本は9条にしばられて平和外交を積み重ねることが大事」（高畑氏）、「平和憲法を守ったうえで積極的平和主義を」（ユンカーマン氏）、「戦前の映画法のもとで国策映画に協力させられた教訓を思い、映画産業で働く労働者も廃案を求め続けたい」（金丸氏）—。

呼びかけ人には、山田洋次監督も加わり、賛同者は、俳優の大竹しのぶ、野際陽子、吉永小百合の各氏のほか、脚本家、評論家、プロデューサーら多彩な人たちに及んでいます。

【大阪府職労】 職場学習会 13回250名

大阪府職労「STOP 戦争法案闘争推進ニュース第7号(2015年7月16日)」より

府職労では「住民を戦争にかりたてる仕事をするのはまっぴらゴメンだ」の思いで、100回1000人を目標に職場学習会をとりくんでいます。本日現在の到達は13職場等での開催、250名の参加です。今月中はあと7回の職場学習会が予定されています。引き続き、とりくみを強化し、すべての職場で学習会を開催しよう。

「知らないうちに」戦争へすすんでいく

15日、土建支部は咲洲庁舎でランチタイム学習会を開催し、16名が参加しました。組合未加入の新採職員の参加もありました。渡部支部長はみんなが気軽に感想を書けるようにと「ミニ感想文カード」と鉛筆を人数分用意して記入を呼びかけたところ、ほとんど全員が感想を書いてくれました。

【感想文より抜粋】

- 「知らないうちに」というキーワードが印象に残りました。よくわからない、知ろうとしないうちに戦争法が進んでいるのは、自身でも問題だと感じました。
- 思っていたより、真剣な事態に陥っていることがわかった。できる範囲で協力したいと考えさせられた。
- とてもわかりやすい説明でした。あらためてダメだと強く感じました。私たちは法にもとづいた仕事をしなければならないので、こんな法案が通ってしまったら、仕事をやめたくなると思います。
- 政府とか与党にも理想があるだろうし、それを目指してやっているんだろうけど、どうにもやり方が強引というかこすいというか。
- 戦争法案の内容についてあまり理解をしていなかったが、本日の説明で、どのようなものなのかがよくわかった。今後もこのような学習会をしていただきたい。
- 戦争法案には反対なので、詳しく知ることが出来てよかった。今までに戦争に向けた法がたくさん成立していたことに驚いた。勉強になりました。
- 戦争法案の中身が分かってよかった。戦争法案は、成立させてはいけないのがよくわかった。勇気をもって声を上げることが大切
- とてもよくわかった。後方支援で戦死者が出たら、戦争法を止められなかった後悔よりも、報復せよという国民感情が勝る事もありうるでしょう（それほど勢いで感情が流されやすい国民ですから）
- 小松書記長のわかりやすい説明に感謝しています。この法案の恐ろしさを感じました。成立させてはいけないと強く思います。
- 知らなかったことがたくさんあり、大変参考になった。個人的には他国の争いに自ら首をつっこんでいくようなことはやめてもらいたいと思う。
- 本日の学習会に参加させていただき、現在、安倍政権が圧倒的な国民の反対世論を踏みにじってまで、必死で戦争法案の成立を急ぐことの原因が見えてきたように思いました。昨年7月の集団的自衛権容認の閣議決定の暴挙に対しては、衝撃とともに激しい怒りを感じましたが、小泉政権の頃から周辺事態法、国民保護法、特定秘密保護法、そして憲法改正に至るまで、日本を戦争のできる国にするための地ならしが着々と進められ、その総仕上げが今回の戦争法案だったのですね。国民をだまして、このようなことが政府主導で進められることは、本当に怖いことだと思います。私たち公務員がその先頭に立って戦争の片棒を担がなければならないことなど考えられません。勇気をもって声を上げることが大切だと思いました。

強行採決糾弾 戦争法案NO！ 全国各地で宣伝を

◆憲法共同センターが衆院での強行採決に抗議する宣伝チラシとスポット（例）を作成しました。全国各地で音を出して宣伝を行いましょ。たたかいはこれからです。

[ダウンロード](#) 憲法共同センターHP <http://www.kyodo-center.jp/?cat=12>

◆全労連は、7月末の発送予定で宣伝チラシを作成中です。必要枚数を22日（水）15時までにお知らせください。

戦争法案 NO! 行動予定

※主催団体名のないものは総がかり行動実行委員会主催です。

21日(火)

◆とめよう! 戦争法案 毎週火曜日いっせい宣伝行動 全国各地

*憲法共同センターは、都内8カ所

新宿東口・巣鴨駅・四谷駅・上野マルイ前・御茶ノ水駅の5カ所は、18時～19時

茗荷谷駅(12時半～13:15)・西新橋1丁目交差点(17時半～18:15)・池袋駅東口(12時半～13時)

22日(水)

主催: 国民大運動実行委員会など3団体

◆定例国会行動 12:15～13時 衆院第2議員会館前

23日(木)

◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 第10回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半

*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

24日(金)

★中央行動 主催: 春闘共闘・全労連

12:15～ 決起集会(日比谷野音)

13:15～ 厚労省前・人事院前 要求行動

14:30～ 国会請願デモ

15:30～ 議員要請(戦争法案・派遣法)など

↓ ↓ ↓

★安倍政権 NO! 0724大行動 主催: 安倍政権NO! ☆実行委員会

18:30～19:30 日比谷野音集会

19:00～21:00 官邸包囲・官邸抗議

26日(日)

◆戦争法案廃案! 国会包囲行動 14時～15時半 国会周辺

28日(火)

◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 7・28大集会・国会請願デモ

*集会=18時半～ 日比谷野音

*集会と並行して国会請願デモ=18時45分出発

30日(木)

◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 第10回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半

*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側